

【報告】

平成 29 年度外国語検定試験受験状況調査報告

平成 29 年 10 月 30 日
国士舘大学 全学教養教育運営センター
外国語部会

外国語部会では、平成 26 年度より今年度までの 4 年間に渡って、法学部と理工学部との協力のもと、外国語検定試験の受験状況と今後の受験への意思に関する以下のようなアンケート調査を年度初頭に実施してきた。4 年間で対象とした範囲は法学部法律学科 1 年生～3 年生、理工学部全学系 1 年生～3 年生で、回答数は延べ 2,945 である。

昨年までの調査結果は各年度の報告書にまとめたとおりである。

今年度対象としたのは、法学部法律学科 2 年生と理工学部全学系 1 年生～3 年生で、それぞれ 161 名、361 名、256 名、165 名、合計 943 名から回答が得られた。

両学部では、昨年度より外国語検定単位認定制度が導入された。今回の調査は、これに合わせて学生の昨年度の受験状況と合格の現状を把握し、この制度によってどの程度受験意欲が高まったかを測った上で、今後外国語教育をさらに充実させ検定受験を促すにはどうしたら良いかを探る目的で実施したものである。

昨年度調査の結果では、単位認定制度を取り入れた両学部 1 年生においては、制度の対象とならなかった 2・3 年生に比べ概して検定受験への意欲が高いことが示されていたが、今年度の結果では、残念ながらその意欲が必ずしも実際の受験へとつながらなかったことが分かった。制度導入の最初の年であったため、未だ制度の認知度が低いことや単位認定の実績がないことなども原因として考えられ、今後数年間の継続の中で成果を見ていく必要があると思われる。

他方、両学部の 2 年生以上で過去 1 年間受験しなかった者にその理由を尋ねたところ、最も多かったのは、自分の実力に自信がない、という回答だった。しかし、検定料が高く出費がためらわれたという経済的な理由を挙げた者も 12%にのぼっており、そのため単位認定と同時に費用負担免除という二つのインセンティブを同時に与えた場合には、より高い意欲を引き出せる可能性がある。もちろん、学生が自分の力に自信をもち、自ら進んで

チャレンジするよう指導していく努力が最重要であることに変わりはないが、それに加えて、さまざまなインセンティブを外から与えることも有効であろう。

こうした結果から、今後、単位認定制度の他学部への拡張に加え、希望者に対して大学が検定料を負担する仕組みを具体的に策定することの意義が裏付けられたと考える。

目次

I 質問内容	－ 1 年生用	47 ～ 48 ページ
	2・3 年生用	49 ～ 50 ページ
II 単純集計結果		51 ～ 52 ページ
III 自由回答結果		53 ～ 55 ページ
IV 回答分析	－ 1. 検定試験の受験状況	56 ページ
	2. 検定を受けなかった理由	57 ～ 58 ページ
	3. 今後の受験の意思	58 ～ 60 ページ
	4. 受験対象となる言語と検定の種類	60 ページ
	5. 自由回答から見えるもの	60 ～ 61 ページ
結論		61 ページ

I 質問内容

【1 年生用】

質問 1. これまでに何か外国語の検定試験を受けたことがありますか。

1. ある ☐ 2. ない ☐ ➡ 質問 2 に進んで下さい。



あると答えた人は、以下の SQ1 および SQ2 に答えて下さい。

SQ1. 受けたことがあるものすべてにチェック☑を入れて下さい。

英語以外のものは、受けた中で最も上の級を下線部に記入して下さい。

1 英検 3 級 <input type="checkbox"/>	6 TOEIC Bridge <input type="checkbox"/>	11 独検 _____ 級
2 英検準 2 級 <input type="checkbox"/>	7 TOEIC <input type="checkbox"/>	12 仏検 _____ 級
3 英検 2 級 <input type="checkbox"/>	8 TOEFL <input type="checkbox"/>	13 中検 _____ 級
4 英検準 1 級 <input type="checkbox"/>	9 IELTS <input type="checkbox"/>	14 韓国語能力試験 _____ 級
5 英検 1 級 <input type="checkbox"/>	10 GTEC <input type="checkbox"/>	
15 その他 _____ 語・(検定名) _____ : _____ 級		

SQ2. 合格したものにチェック☑を入れて下さい。(TOEIC, TOEFL, IELTS はスコアを記入)

(複数回受験した人は、直近のスコアを記入 英語以外は、合格した級の中で最も上の級を記入)

1 英検 3 級	<input type="checkbox"/>	6 TOEIC Bridge 点	11 独検 級
2 英検準 2 級	<input type="checkbox"/>	7 TOEIC 点	12 仏検 級
3 英検 2 級	<input type="checkbox"/>	8 TOEFL 点	13 中検 級
4 英検準 1 級	<input type="checkbox"/>	9 IELTS 点	14 韓国語能力試験 級
5 英検 1 級	<input type="checkbox"/>	10 GTEC 点		
15 その他 語・(検定名) : 級					

質問 2. これから在学中に、何か外国語の検定試験を受けたいと思っていますか。(1 つにチェック)

1. 受験料を自己負担してでも受けたい ☐ 2. 受験料の自己負担がないなら受けてもよい ☐
 3. 受験料の自己負担がないとしても受けたくない ☐ 4. 分らない ☐

SQ1. 受けたい人(質問 2 の回答が 1 または 2 の人)はどの試験を受けたいですか。

(複数チェック可)

1 TOEIC	<input type="checkbox"/>	5 独検	<input type="checkbox"/>
2 TOEFL	<input type="checkbox"/>	6 仏検	<input type="checkbox"/>
3 IELTS	<input type="checkbox"/>	7 中検	<input type="checkbox"/>
4 GTEC	<input type="checkbox"/>	8 韓国語能力試験	<input type="checkbox"/>
9 その他 語・(検定名)			

質問 3. あなたの学部では、受験結果により外国語の検定試験が卒業所要単位として認定されることがありますが、受けようと思いますか。

1. 受ける ☐ 2. 受けない ☐ ➡ 質問 4 に進んで下さい。



「受ける」と答えた人は、以下の質問に答えて下さい。

SQ1. 受けようと思うのはなぜですか。(複数チェック可)

1. 単位が必要だから ☐ 2. 就職やキャリアに必要だから ☐
 3. その他 ☐ 具体的に: _____

質問 4. 以上の他、外国語の検定試験についてご意見等がありましたら、ご記入下さい。

【2・3 年生用】

質問 1. 過去 1 年間に何か外国語の検定試験を受けましたか。

1. 受けた
- ☐
2. 受けなかった
- ☐
- ➡ SQ3 に進んで下さい。



受けたと答えた人は、以下の SQ1 および SQ2 に答えて下さい。

SQ1. 過去 1 年間に受けたものすべてにチェック☑を入れて下さい。

英語以外のものは、受けた中で最も上の級を下線部に記入して下さい。

1 英検 3 級 <input type="checkbox"/>	6 TOEIC Bridge <input type="checkbox"/>	11 独検 _____ 級
2 英検準 2 級 <input type="checkbox"/>	7 TOEIC <input type="checkbox"/>	12 仏検 _____ 級
3 英検 2 級 <input type="checkbox"/>	8 TOEFL <input type="checkbox"/>	13 中検 _____ 級
4 英検準 1 級 <input type="checkbox"/>	9 IELTS <input type="checkbox"/>	14 韓国語能力試験 _____ 級
5 英検 1 級 <input type="checkbox"/>	10 GTEC <input type="checkbox"/>	
15 その他 語・(検定名) : 級		

SQ2. 過去 1 年間に合格したものにチェック☑を入れて下さい。(TOEIC, TOEFL, IELTS はスコアを記入) (複数回受験した人は、直近のスコアを記入。英語以外は、合格した級の中で最も上の級を記入。)

1 英検 3 級 <input type="checkbox"/>	6 TOEIC Bridge 点	11 独検 _____ 級
2 英検準 2 級 <input type="checkbox"/>	7 TOEIC 点	12 仏検 _____ 級
3 英検 2 級 <input type="checkbox"/>	8 TOEFL 点	13 中検 _____ 級
4 英検準 1 級 <input type="checkbox"/>	9 IELTS 点	14 韓国語能力試験 _____ 級
5 英検 1 級 <input type="checkbox"/>	10 GTEC 点	
15 その他 語・(検定名) : 級		

SQ3. (過去 1 年間に何も受けなかった人のみ答えてください。)

受けなかった理由は何ですか。(複数チェック可)

1. ☐ 自分の実力に関する理由 (自信がなかった、現状で受けても良い結果は出ないと思った、など)
2. ☐ 経済的理由 (検定料が高い、出費がためられた、など)
3. ☐ 実際的な理由 (情報不足だった、申し込みのタイミングを逃した、など)
4. ☐ 動機にかかわる理由 (特に意義を感じなかった、就職にあまり関係ないと思った、など)
5. ☐ 心理的な理由 (外国語が好きでなく苦手意識があり、受けたいと思わなかった、など)
6. ☐ 単位に関する理由 (検定試験で外国語の卒業単位が認定される制度があることを知らなかった)
7. ☐ その他 具体的に ()

質問 2. これから在学中に、何か外国語の検定試験を受けたいと思っていますか。(1つにチェック)

1. 受験料を自己負担してでも受けたい ☐ 2. 受験料の自己負担がないなら受けてもよい ☐
3. 受験料の自己負担がないとしても受けたくない ☐ 4. 分らない ☐

SQ1. 受けた人(質問 2 の回答が 1 または 2 の人)は、どの試験を受けたいですか。(複数チェック可)

1 TOEIC	<input type="checkbox"/>	5 独検	<input type="checkbox"/>
2 TOEFL	<input type="checkbox"/>	6 仏検	<input type="checkbox"/>
3 IELTS	<input type="checkbox"/>	7 中検	<input type="checkbox"/>
4 GTEC	<input type="checkbox"/>	8 韓国語能力試験	<input type="checkbox"/>
9 その他		語・(検定名)	

質問 3. あなたの学部では、受験結果により外国語の検定試験が卒業所要単位として認定される
ことがあります。受けようと思いますか。

1. 受ける ☐ 2. 受けない ☐ ➡ 質問 4 に進んで下さい。



「受ける」と答えた人は、以下の質問に答えて下さい。

SQ1. 受けようと思うのはなぜですか。(複数チェック可)

1. 単位が必要だから ☐ 2. 就職やキャリアに必要なだから ☐
3. その他 ☐ 具体的に: _____

質問 4. 以上の他、外国語の検定試験についてご意見等がありましたら、ご記入下さい。

Ⅱ 単純集計結果

H29 語学検定試験アンケート結果 法・理工回答一覧

	法学部法律学科2年	理工学部1年	理工学部2年	理工学部3年
Q1. 検定を受けたか	(過去1年間)	(今まで)	(過去1年間)	(過去1年間)
N(回答人数)	161	361	256	165
受けた	10(6.2%)	136(37.7%)	12(4.7%)	6(3.6%)
受けなかった	141(87.6%)	223(61.8%)	242(94.5%)	159(96.4%)
Q1SQ1. 何を受けたか(複数回答)				
n(受けた人数)	10	136	12	6
TOEIC Bridge	0(0%)	4(3%)	0(0%)	0(0%)
TOEIC	5(50%)	5(3.7%)	4(33%)	4(66.7%)
TOEFL	0(0%)	4(3%)	0(0%)	0(0%)
IELTS	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
GTEC	0(0%)	17(12.5%)	1(8.3%)	0(0%)
英検3級	4(40%)	107(78.7%)	4(33.3%)	1(16.7%)
英検準2級	1(10%)	55(40.4%)	4(33.3%)	0(0%)
英検2級	0(0%)	13(9.6%)	2(16.7%)	0(0%)
英検準1級	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
英検1級	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
独検	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(16.7%)
仏検	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
中検	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
韓国語能力試験	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
その他		日本語、リスニング検定	日本語1級1名	0
Q1SQ2. 点数または合格者数				
n(それぞれを受けた人数)	10	136	12	
TOEIC Bridge	/	/	/	/
TOEIC	350点、400点、430点、500点各1名(その他1名不明)	400点、545点、各1名	390点、530点、560点、各1名(その他1名不明)	300点、400点、410、520点各1名
TOEFL	/	39点、40点、各1名	/	/
IELTS	/	/	/	/
GTEC	/	329, 360, 400, 444, 450, 480, 515, 600点各1名(その他9名点数不明)	1名点数不明	/
英検3級	4(100%)	79(73.8%)	92(71.9%)	0(0%)
英検準2級	1(100%)	20(36.4%)	26(40%)	/
英検2級	/	2(15.4%)	5(38.5%)	/
英検準1級	/	/	/	/
英検1級	/	/	/	/
独検	/	/	/	1(100%)
仏検	/	/	/	/
中検	/	/	2(100%)	/
韓国語能力試験	/	/	/	/
その他		日本語	日本語1級1名	

Q1SQ3 受けなかった理由				
n(受けなかった人数)	141		242	159
自分の力に自信がない	97(68.8%)		160(66.1%)	90(56.6%)
経済的理由	25(17.7%)		24(9.9%)	16(10.1%)
実際的理由	28(19.9%)		30(12.4%)	22(13.8%)
動機不足	33(23.4%)		56(23%)	40(25.2%)
心理的理由	48(34%)		87(36%)	57(36.5%)
単位認定知らなかった	13(9.2%)		12(5%)	6(3.8%)
その他	8(5.7%)		8(3.3%)	3(1.9%)
Q2. 今後在学中に受けたいか				
N	161	361	256	165
自己負担でも受けたい	35(21.7%)	107(29.6%)	56(21.9%)	34(20.6%)
自己負担なしなら受けたい	27(16.8%)	88(24.4%)	56(21.9%)	23(13.9%)
自己負担なしでも受けたくない	4(2.5%)	21(5.8%)	21(8.2%)	10(6.1%)
分からない	40(25%)	141(39.1%)	71(28%)	47(28.5%)
不明	55(34.2%)	4(1.1%)	52(20.3%)	49(29.7%)
Q2SQ1. 何を受けたいか(複数回答)				
n(受けたい人数)	62	195	112	57
TOEIC	55(88.7%)	178(91.3%)	91(81.3%)	47(82.5%)
TOEFL	5(8.1%)	35(17.9%)	12(10.7%)	6(10.5%)
IELTS	0	1(0.5%)	0	0(0%)
GTEC	0	7(3.6%)	3(2.7%)	0(0%)
独検	3(4.8%)	12(6.2%)	2(1.3%)	2(3.5%)
仏検	0	6(3.1%)	1(0.9%)	2(3.5%)
中検	9(15%)	6(3.1%)	11(9.8%)	2(3.5%)
韓国語能力試験	3(4.8%)	2(1%)	3(2.7%)	2(3.5%)
その他	英検準2級1名	英検2級、準2級、スペイン語、日本語、リスニングで計8名	ロシア語1名、日本語3名で計4名	0
Q3. 単位認定なら受けたいか				
N				165
自己負担でも受けたい				54(32.7%)
自己負担なしなら受けたい				33(20%)
自己負担なしでも受けたくない				6(3.6%)
分からない				21(12.7%)
不明				51(30.9%)
Q3. 単位認定するが受けるか				
N	161	361	256	
受ける	70(43.5%)	267(74%)	101(39.5%)	
受けない	40(24.8%)	86(23.8%)	105(40.2%)	
不明	51(31.7%)	8(2.5%)	49(18.8%)	
Q3SQ1. 受ける理由(複数回答)				
n(受けるとした人数)	70	267	101	
単位が必要	32(45.7%)	187(70%)	52(51.5%)	
就職・キャリアに有利	39(55.7%)	157(58.8%)	66(65.3%)	
その他	6(8.6%)	16(6%)	1(1%)	

Ⅲ 自由回答

受けなかった理由として（選択肢以外の回答）＝ Q1 SQ3 の答え

法学部 2 年生

どういう資格を取るか悩んでいたから。

来年度受けるつもりでいたため。

スペイン語検定がなかった。

既に取得したものがあるから。

他の活動で忙しかった。

別の資格を受けたため。

理工学部 2 年生

時間的余裕がない。

受験料を安くしてほしい。

必要ないと思った。

忙しくて暇がない。

部活で受ける暇がなかった。

部活を優先したため。

部活を優先し、時間がなかった。

部活を優先したため。

理工学部 3 年生

時間がない。

英 2 をもっているから。

勉強する時間がない。

受けた理由として（選択肢以外の回答）＝ Q3 SQ1 の答え

法学部 2 年生

実力を付けたと実感出来るから。

前々から受けてみようと思ったから。

挑戦してみたいから。

お金がかからないなら受けて損はないから。

韓国で韓国語をはなせるようにしたい。

他の資格を取りたい。

とくにありません。

道案内のため。

理工学部1年生

英語の勉強につながるから。

就職に役立てたいから。

話せるくらいにはなりたいから。

自分のためになるから。

将来の役に立つから。

使う可能性があるから。

就職に有利になるから。

外国人の友達を作りたいため。

語学を学びたいから。

外国人と話せるようになりたい。

将来、多くの言語を話したいと思っているのでそれが単位に繋がるとなといい。

自分の人生をなるべくいい方向へ進めたいから。

自分の実力を確認できる機会だから。

ただ単に英語を話せるようになりたい。

英語に関心があり、他国の人と話してみたい。

かっこいいから。

技能を増やせるから。

理工学部2年生

とれるなら取りたいから。

理工学部3年生

(自由回答記入なし)

その他、意見など = Q4 の答え

法学部 2 年生

特になし

TOEIC や TOEFL がどの程度就職で有利になるのか具体的にわからない。また、英語の中でも勉強する場所は大学受験とは異なると聞いたのですがどのようなところを勉強すればよいかわからない。

（完ペキに受けないとは限らないが、）興味がないし苦手だから。

受験料の負担がないなら受けたい。

理工学部 1 年生

自分のレベルがその検定に達したら受ける。

大学内もしくは、自宅近くで会場ができれば喜ばしく思う。

今後のことが分からないので必要であれば受ける可能性もある。

準一級、一級のガイダンスが欲しい。

学内で受けられればいい。

受かりそうなら受けたい。

現在の考えは、あいまいなため、考え直すかもしれない。

また、検定試験の知識がないことも理由の一つである。

対策講習などはあるか。

何度も落ちているので自己負担では、受けたくない。

英会話が不十分で、どうすればいいのか、おすすめのアプリや参考書があれば教えてほしい。

理工学部 2 年生

受験料を安くしてほしい。

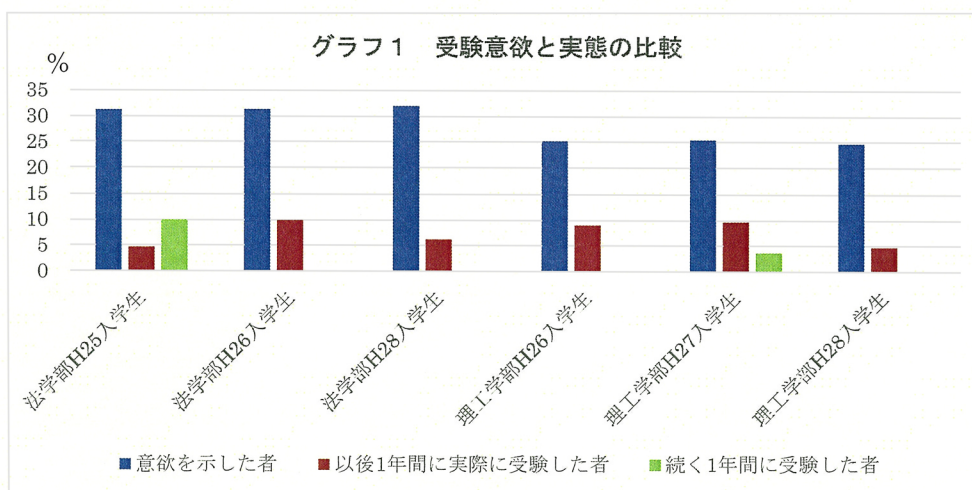
理工学部 3 年生

自己負担がないとは言いませんが、学内で受ける場合は、半額などにしてほしい。

IV 回答分析

1. 検定試験の受験状況

- ① 1 年生（理工学部）の回答者 361 名のうち、今まで（すなわち大学入学まで）に語学検定を受けた経験を持つ者は 37.7% に当たる 136 名、ない者は 61.8% に当たる 223 名で、受験経験者は未経験者をかなり下回るものの 4 割近い。
- ② 2 年生・3 年生には、大学入学前の受験経験は問わず、在学中の過去 1 年間に受験したか否かを尋ねた。その結果、2 年生 256 名のうち受験した者はわずか 12 名（4.7%）、3 年生 165 名のうち受験した者は 6 名（3.6%）であることが分かった。
- ③ また、理工学部では、27 年度入学直後の 1 年生の 25.3%（371 人中の 94 人）が「自己負担でも受けたい」との意欲を示していたが、1 年後実際に受験していた人は 9%（209 人中の 20 人）しかおらず、さらに 1 年後の今年度、過去 1 年間に受験していた者は 3.6%（回答者 165 名中の 6 名）と減少していたことが分かった。
- ④ 法学部では昨年度「今後、費用を自己負担してでも受けたい」と答えた 1 年生が 64 人（200 人中の 32%）いたが、その同じ集団の 1 年後の受験状況を見ると、実際には 10 人（回答者 161 人中の 6.2%）しか受験しておらず、受験意欲と受験の実態に大きな落差があることが見て取れる。



以上から見えるのは、大学入学時点では受験経験者が比較的多数おり、今後の受験への意欲も高いが、本学での 1 年ないし 2 年間の学びの間に実際に検定に挑戦する者が激減するという事態である。これは期待される教育効果と真逆の結果であり、これを放置することはできない。

2. 検定を受けなかった理由

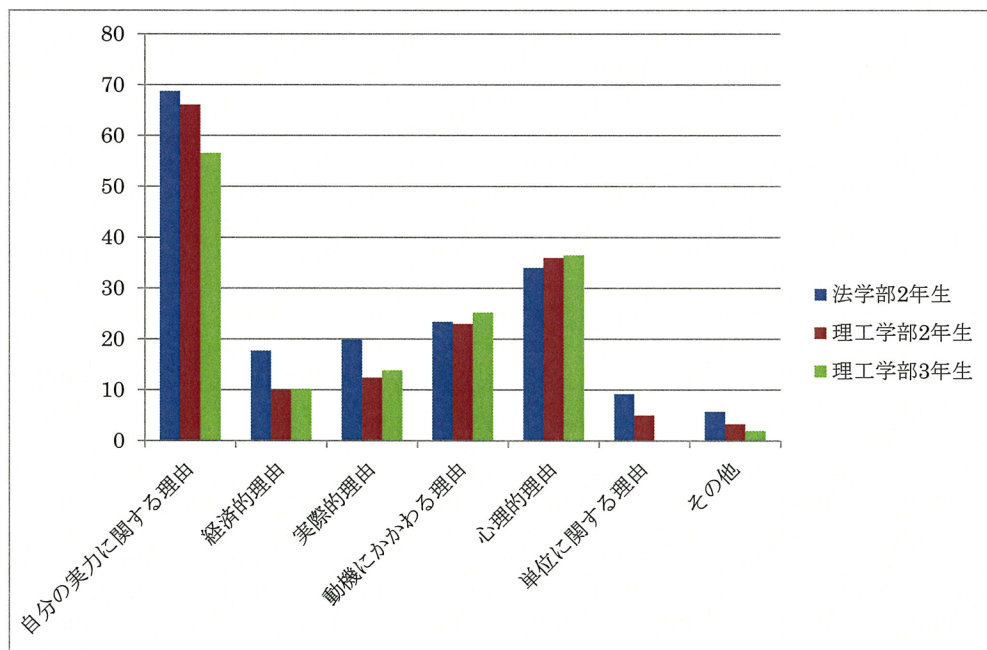
法学部2年生および理工学部2、3年生で検定試験を受けなかった者にその理由を複数回答で尋ねたところ、いずれにおいても最も多かったのは「自分の実力に関する理由（自信がなかった、現状で受けても良い結果は出ないと思った、など）」で、7割近くがこれを理由に挙げていた。

その他に、「心理的な理由（外国語が好きでなく苦手意識があり、受けたと思わなかった、など）」も3割以上の者が挙げていたが、こうしたブレーキとなる要因を取り除き、学生たちが意欲と自信をもつよう指導することは外国語教員の責務であり、今後一層の努力が必要であることを自覚しなければなるまい。

実的な理由（情報不足だった、申し込みのタイミングを逃した、など）に関しても、教員が授業の際などこまめに声をかけることで改善が望めるだろう。

その上で特に注目したいのは「経済的理由（検定料が高い、出費がためらわれた、など）」が少なからずいるということである。意欲がありながら費用の負担ができずにチャンスを逃すとすれば、これほど残念なことはない。

グラフ2 受験しなかった理由



自分の実力に関する理由＝自信がなかった、現状で受けても良い結果は出ないと思った、など

経済的理由＝検定料が高い、出費がためらわれた、など

実際的な理由＝情報不足だった、申し込みのタイミングを逃した、など

動機にかかわる理由＝特に意義を感じなかった、就職にあまり関係ないと思った、など

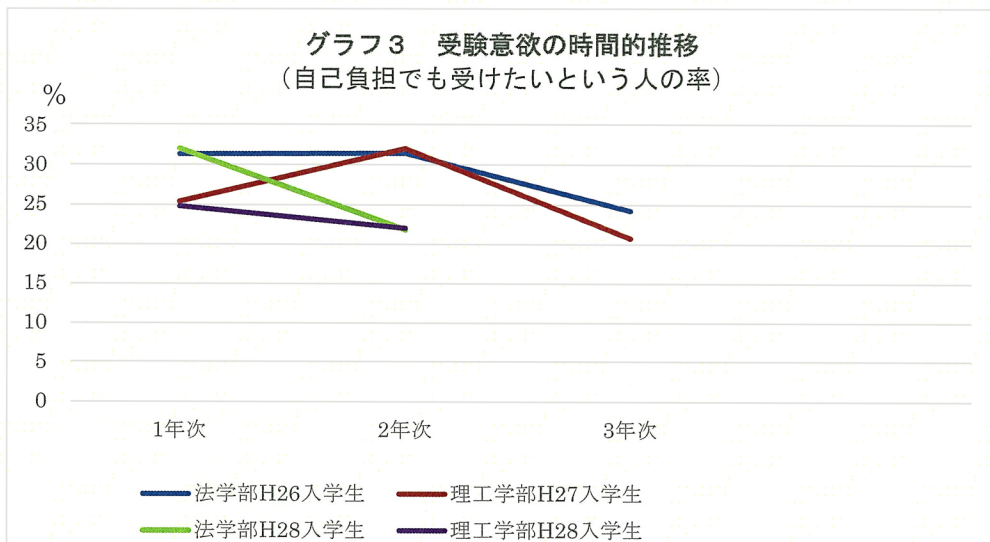
心理的な理由＝外国語が好きでなく苦手意識があり、受けたいと思わなかった、など

単位に関する理由＝検定試験で外国語の卒業単位が認定される制度があることを知らなかった

その他：上記「自由回答」参照

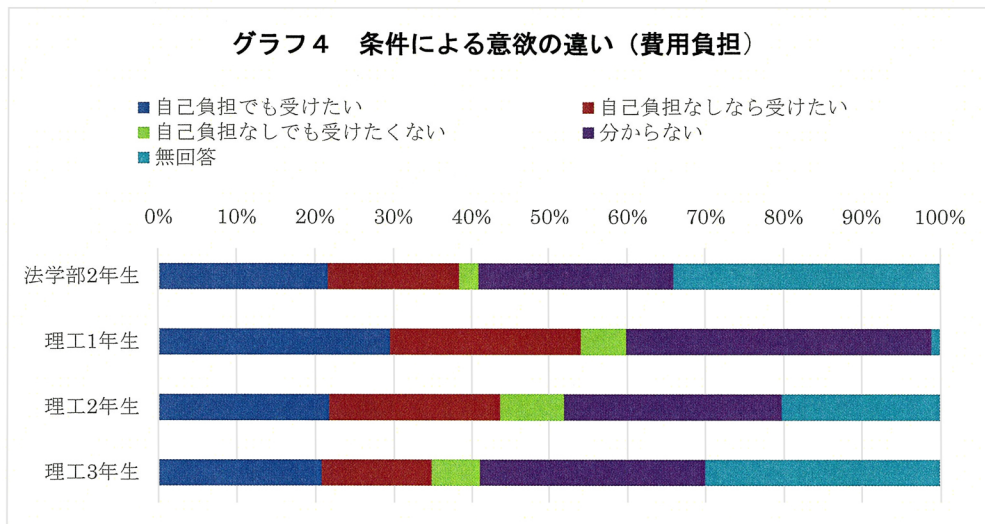
3. 今後の受験の意思

- ① 昨年度の入学生は法学部でも理工学部でもそれぞれ32%と24.7%が「自己負担でも単位認定がなくても受ける」と答えていたが、1年後の今年では、それぞれ21.7%と21.9%に落ち込んでいて、意欲自体が低減していることが見える。
- ② 理工学部では、27年度の入学生が1年時に「自己負担でも単位認定がなくても受ける」と答えていたのが25.3%だったにもかかわらず、1年後の28年度は32%に増えていた。しかし、さらに1年後の今年は20.6%に落ち込んでしまっている。

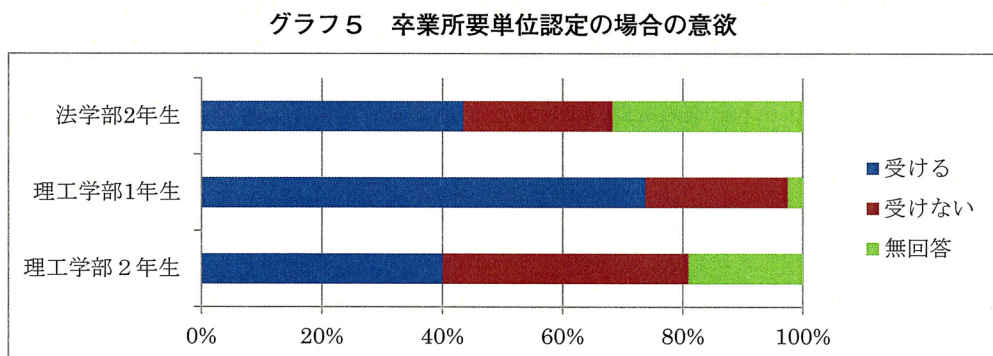


受験意欲は、ひとつの例外のケースを除いて、1年次から3年次にかけて低下の傾向を見せている。本来ならば就職活動に向けて資格取得をすべき時期だが、逆に意欲がなくなっていることが分かる。2年間の外国語学習ののちに検定受験への意欲自体が低減する、という結果が出たことは、深刻に受け止めるべきである。理由としては、外国語の卒業所要単位取得が終わったことや他の資格試験に関心が向くことなどが考えられる。

- ③ 「検定料を自己負担してでも受けたい」との意欲のある者は両学部 1～3 年合わせて 232 名で、全体の 26.4% に過ぎない。他方、「自己負担がなければ受けてもよい」とと答えた者はこれより少ないが 194 名おり全体の 20.6% に当たる。また、「仮に費用の自己負担がないとしても受けたくない」という消極的な学生は 56 名で全体の 5.9% と少数派である。



- ④ 法学部 1 年生および理工学部 1・2 年生に対して、検定試験により卒業所要単位が認定される制度があることを知らせた上で受けるかどうか尋ねたところ、56.3% に当たる 438 名が受けると回答していて、インセンティブが働いていることが伺われる。ただし、1 年生の方が意欲が大きく、2 年生では低下している。



グラフ 4 と 5 から見て取れるのは、受験への意欲が費用負担や単位認定などの条件によって大きく変わるということである。費用の自己負担が受験へのひとつのブレーキになっていることが伺われる一方で、単位認定制度の導入が受験意欲の高まりに結びついていることも示されている。とは言え、実際にこの制度を導入した初年度である昨年は、まだこれを利用して受験した学生はわずかで、制度の周知が不十分であったことが伺われる。年度初めのガイダンスや授業の中で繰り返しアナウンスすることが必要であろう。

4. 受験対象となる言語と検定の種類

- ① 英語では、TOEIC の受験希望が圧倒的に多く、何らかの検定を受ける意思を示した者 426 名の 87 % に当たる 371 名が TOEIC と答えている。続いて TOEFL が 58 名 (13.6%)、GTEC が 10 名 (2.3%) で、少数ながら英検 (実用英語技能検定) の希望もある。IELTS は留学などをを目指す場合に TOEFL に代わるものとして国際的認知度が高まっているが、4 年間の調査をとおして受験経験者は皆無、希望者は 1 名のみであった。
- ② 他方、1 割未満に留まるもののドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、韓国語など本学で第 2 外国語として学び始めた言語の受験を志す学生もいる。

ちなみに、TOEIC 受験希望者は 26 年度の 88.1%、27 年度 83.8%、28 年度 90.0%、そして今年度 87% と 4 年連続して 8 割以上の高い水準となっている。この意欲に対しては、教員側も十分に応えていく必要がある。

また、英語だけでなく初修の第二外国語で検定を目指す学生に対してもその意欲をサポートし、合格可能な力がつくよう導いていく授業が求められている。

5. 自由回答から見えるもの

- ① 例年同様、検定受験への意欲は決して低いわけではない。単位補充や就職で有利という直接的なメリットを求めるだけでなく、チャレンジ精神や自己研鑽への意識が感じられる回答も少なくない。外国人と話したい、友達を作りたい、といった異文化理解・交流が動機となっている者もいれば、自分の人生全体の中に外国語能力というスキルを位置づけている者もいる。内発的で真正な動機をもつ学生が多少なりともいることは大いに喜ばしい。
- ② 受験しなかった理由として、用意された選択肢以外に挙げられているものとしては、

忙しい、時間がない、部活優先などが最も多かった。自分で手続きをしたり休日に試験会場に赴いたりする余裕がない、という意味であれば、学内での一斉受験でかなりの程度解決しうる。

- ③ 学内受験については、複数の要望の声が出されているので、上の理由とも合わせ将来的課題として見ていく必要がある。
- ④ 昨年同様、受験に向けた情報提供、アドバイス、対策講習などを求める声が上がっている。まずは授業の中で可能な限りこうした要望に応えていかねばならない。
- ⑤ 昨年同様、受験費用負担の軽減への期待の声が複数ある。

結論

連続 4 年目の調査となった今回は、共時データだけでなく、通時的なデータがさらに充実し、一定の集団の長期的変化をより良く知ることができた。本学学生の外国語習得に対する意識と実態を昨年度にも増して立体的に観察することができたと言える。

平成 26 年度の第 1 回調査では、入学前と入学後の受験状況の比較、学年間・学部間の比較、受験経験者と未経験者の意欲の比較、合格率やスコアの問題等々についてもクロス集計を含め詳細に分析したが、以降は、意欲のある者がその後実際に挑戦をしているかどうか、また意欲自体がどう変化するか、実行に至らないのはなぜか、ということに特に着目した。その結果示されたのは、現状では実際に受験した者が少ないだけでなく、入学時に抱いていた意欲が就学中に自信のなさへと変わり、失せていくという非常に残念な事態である。このネガティブな通時の変化から見えてきた課題は、意欲をどう自信と実行へと導くかであり、そのため教員は具体的に何をすべきかである。上述したような授業内での指導はもちろんだが、制度的にインセンティブを与えることも必要であろう。

その点に関しては、単位認定と受験費用の負担軽減が学生たちの受験意欲を高めることが昨年度に引き続き今年度も確認された。日々の授業の改善や検定対策となる指導の強化はもちろんのことだが、単位認定制度の存在を周知徹底し、積極的活用を呼びかけるとともに、受験費用負担を軽減するための制度の策定が求められている。

（文責：生方淳子）